

7/27

さいがいじ ふうし こうじょう 災害時の福祉向上に

避難所用の段ボールベッド寄贈

筑紫地区の測量、調査、設計業を営む人で構成する筑紫地区建設コンサルタンツ協会から段ボールベッド5台の寄贈がありました。5分程度で組み立て可能なこのベッドは、避難所において、床から起き上がるのが困難な人などのために使用します。

同協会の大和会長は「衛生面やプライバシー面にも有効なベッド。役立ててもらえたら」と話していました。



ベッドは約200キログラムの重さに耐えられます

7/21

えきびょうたいさん ねが 疫病退散! ウリに願いを込めて

武蔵寺「うり封じ」

市内武蔵の武蔵寺で、願い事を書いた紙をウリに貼り、祈願をする伝統行事「うり封じ」が行われました。今年は例年と祈願の流れを変更するなど、感染症予防に考慮して行われました。

「無病息災」や「家内安全」などの願いに加え、「疫病退散」という願いも。「ももとは疫病退散の行事」と住職は話します。病気や災いが封じ込められたウリは地中に埋められ、その後、土に戻ります。



願いを書いた紙をウリに貼り、祈願をします



出発式で決意を述べる職員

令和2年7月豪雨
被災地に支援職員を派遣しています

令和2年7月豪雨で被災した大牟田市に、7月22日から市職員を派遣しています。7月21日に行った出発式では、職員の代表が「被災した皆さんの一助になれるよう尽力します」と決意を述べました。

現地では大牟田市の職員と協力し、浸水被害を受けた家屋など
の消毒作業を行っています。今後も引き続き被災地の情報収集に努め、要請があった場合には支援を行っていきます。



被害を受けた家屋の消毒作業

